

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称		〔37〕 東京都台東区立台東児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22. 4. 1 ～ H27. 3. 31	
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2) 類似施設の管理実績	児童館7館、13こどもクラブ（平成22年10月から14こどもクラブ）					
(3) 経営状況	（22年度決算ベース）〔社会福祉事業会計〕 収入2,679,789,578円、支出2,542,831,771円、収支差額136,957,807円					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東1-11-5					
(2) 設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3) 利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日（第三日曜日を除く）：午前9：30～午後6：00一部開放。中高生タイム：月曜日から金曜日 午後6：00～午後7：00 休館日 年末年始、祝祭日（5月5日は開放）					
(5) 規模	RC5階建て 3階 遊戯室・図書室・図工室・こどもクラブ室等					
(6) 人員体制	常勤4名、短時間4名					
<b>3. 事業（サービス提供）の概要</b>						
(1) 委託事業	①児童の福祉を目的とする事業②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと③その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2) 自主事業	自主事業は行なっていない。					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	34,363,000	35,408,000	32,319,000	32,052,000	31,325,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	34,363,000	35,408,000	32,319,000	32,052,000	31,325,000
決算	委託料	31,204,376	29,374,673	28,842,382	29,722,630	29,794,042
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	31,204,376	29,374,673	28,842,382	29,722,630	29,794,042
	収支	0	0	0	0	0
<b>5. 施設の稼働状況等（活動指標）</b>						
指標名称		単位	19年度	20年度	21年度	22年度
開館日数		日	335	334	333	334
<b>6. 成果指標</b>						
指標名称		単位	目標値 (24年度)	20年度	21年度	22年度
利用者数		人	16,000	15,570	17,106	15,499

**7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み**

・児童を取り巻く地域の関係者（民生委員・主任児童委員・青少年委員・各学校PTA等）との協力関係の強化により、児童館活動への理解を深めた。  
 ・各室の環境整備に努めたことや各プログラムの設定日数を増やしたことで行事参加者数が増加した。

**8. 評価項目**      3：協定等の水準を上回っている。      0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。      -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成 [2]	(f) 開館時間等の遵守 [2]	(g) 自主事業の成果 [2]	(h) 個人情報保護 [2]
	(b) サービス水準 [2]	(i) 緊急時対応マニュアル [2]	(j) 警備・防犯体制 [2]	
	(c) 職員配置 [2]			
	(d) 職員研修 [2]			
	(e) 案内・接遇 [2]			
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 [2]	(e) 危険箇所等の確認 [2]	(f) 管理記録の作成・保存 [2]	(g) 業務委託の事前承認 [2]
	(b) 備品の管理 [2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
	(c) 清掃・衛生管理 [2]			
	(d) 施設の修繕 [2]			
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価 [2]	(d) 利用しやすい環境整備 [2]	(e) 関係団体・地域との関わり [2]	
	(b) 苦情・要望への対応と報告 [2]			
	(c) 利用者数の目標達成 [2]			
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 [2]	(c) 収支計画の達成 [2]	(d) 利用料等の徴収・管理 [-]	
	(b) 経費削減のための取組み [2]			

**9. 評価**

S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	それぞれの年齢層の児童の利用時間に合せた事業を提供するなど工夫している。また、個人情報保護や危機管理は、組織として研修・指導を徹底している。
(2) 施設の維持管理	A	保育園、区職員寮との併設であるため、施設の維持管理では保育園と相談し適正に対応すると共に、小破修繕を小まめに実施し利用者のより良い環境を保持している。
(3) 利用者の満足度	A	各室内の環境整備や活動の設定日数を増やすなど、子ども達の希望に応えている。
(4) 歳入歳出	A	消耗品を一括購入する等、指定管理者として、職員全体で経費削減の取り組み、効率化に努力している。

**10. 総合評価**      良好   妥当   要努力   要改善   不適

<b>妥当</b>	児童人口が多くない地域ではあるが、各室内の環境整備や活動の設定日数を増やすなど、子ども達の希望に応えた事業を展開し、地域の児童の健全育成の拠点としての役割を果たしている。
-----------	---

**11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応**

子育てに関する情報の発信や関係機関との連携により、児童館が安全安心な遊び場であることを知らせていく児童館活動のPRに努めると共に、児童館内に留まらない事業展開も続ける。  
 24年度に、耐震大規模改修を行ない、利用者の安全と利便性を向上させる予定。